



市立少年自然の家

- ・所在地 大淵10847-1
- ・建物 鉄筋コンクリート造3階建
- ・宿泊人員 200人
- ・利用料 1泊3食で子ども1,120円
おとな1,220円
- ・野外活動施設 野営場・オリエン
テーリング公認コース他

ぼくの夢 わたしの夢



吉永第二小六年
佐藤弘之君

僕は、将来画家になりたいと思っています。なぜかという僕は、絵を書くのが好きで、遠足に行っても、修学旅行に行ってもすぐに書きたくなるからです。絵を書く時は不思議っぽいピカソの様な絵を書いて見たいと思います。なぜかというみんなにうまいと言われてほしいからです。日本中に僕の名前が出るような画家になりたいです。



吉永第二小六年
中森久美子さん

私は、将来マンガ家になりたいと思います。読むのもいいけれど、やはり自分で書くほうが楽しいと思ったからです。まっ白いノートに、自分で話を考え、わからないところはマンガの本を見ながら研究し、1コマ1コマ書くのは、とても楽しくてしょうがないです。全国の人が私の名前を知っているような、有名なマンガ家になりたいと思っています。



〔1日の始まりは朝のつどいから〕

市立少年自然の家は、世界の名山富士山麓の雄大な自然と緑を生かした、丸火自然公園（100 ha）の中に昭和49年10月できました。

自然に親しむ機会が少なくなった少年たちを輝く太陽、美しい緑、澄み切った空気の中へつれもどします。

楽しい集団宿泊生活をとおして、伸び伸びとした野外活動や知恵を出し合っの遊びなどを味あわせて、自主、協調、規律、友愛の精神を養い人間形成に必要な資質の向上を図

ることを目的としてつくられた社会教育施設です。

主に、市内の小学5年生の「みどりの学校」、中学1年生の「健康教室」に、この他、指導者が引卒した子ども会や教育委員会が適当と認めた人たちにも利用されています。

オープン以来、延21万4,292人が利用してきました。

現在、雨天でも運動ができるよう2億円余を投じ体育館を建設中です。



富士第一小6年
勝呂昌広君

表紙のことば

環境週間を記念して、6月6日富士第一小学校の全児童1,892人が、美しい環境づくりの願いを込めた短冊を風船につけ一斉に大空高く飛ばしました。

この日、渡辺市長と一緒に大空に願いを込めて風船を飛ばした同校6年勝呂昌広君は、僕たちのまちは、僕たちの手で緑をふやそうと書いた短冊とサラダ菜の種を手に「まちに緑をふやし、美しい青空のあるきれいなまちにしよう。またこの短冊を拾ってくれた人から、便りが届くのを心待ちにしています」と話してくれました。